

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587010502	科目番号 / Subject code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動 (国際社会と日本経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	青山 繁		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	青山 繁		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	青山 繁		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2, 3, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	授業の時に伝達する		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館602		
担当教員TEL / Tel	授業の時に伝達する		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 16:30 - 17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	開発途上国が抱える問題とそれへの対応について理解を深める。その過程で多くの知識を習得して自分の頭で考え表現する能力を養う。		
授業到達目標 / Goal	授業で習得した知識や視点から発展途上国の経済発展について自分なりの考察ができること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	授業のねらいを達成するため、テキストおよび配布資料を基に、教員ができるだけ受講者と問答しながら授業を進める。これをスムーズに行うため、受講者は事前にテキストまたは配布プリントを予習することを求められる。また、授業への貢献度を成績評価に反映させる。具体的には、的確な答え、よい意見や質問があったときにその人に点数を与えていく方式である。したがって、授業への積極的な姿勢が期待される。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>なぜ豊かな国がある一方で貧しい国があるのか、また貧しい国は豊かになる可能性があるのか、ということについて、近年重視されている制度的・文化的側面からのアプローチを行う。そして、具体的なケーススタディとして、ラテンアメリカ、アジアのこれまでの経済発展の軌跡と今後の行方に関して、主として制度的・文化的側面から分析を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション、基礎的事項の説明 2 既存の発展理論のレビュー 3 テキスト第1章 4 テキスト第3章 5 テキスト第4章前半 6 テキスト第4章後半 7 テキスト第5章 8 テキスト第9章前半 9 テキスト第9章後半 10 テキスト第10章前半 11 テキスト第10章後半 12 テキスト第11章 13 復習と総括 14 復習と総括 15 復習と総括 		
キーワード / Key word	経済発展、制度、文化		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	(テキスト) T・J・イェーガー 『新制度派経済学入門--制度・移行経済・経済開発』 東洋経済新報社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験(95点)と授業への貢献度(5点)による。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	初歩的な説明から始めるので、予備的な専門知識は不要。予習に各回1 - 2時間を必要とする。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587010902	科目番号 / Subject code	05870109
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動 (地域社会と日本経済)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鶴田 仁		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鶴田 仁		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鶴田 仁		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tsuruta@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館624号室		
担当教員TEL / Tel	内線364		
担当教員オフィスアワー / Office hours	原則、火曜日講義後。その他の場合は、メールで事前に問い合わせること。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	経済のグローバル化が進展するなか、企業は、日本経済のみならず世界経済の状況を勘案して活動していく必要がある。授業では、日本の貿易構造の変化、外国の貿易政策が他国に与えた影響等を概観し、国の出先機関の役割を踏まえた上で、主に国際貿易の視点から、今後の地域社会の取り組みについて考察することとしたい。		
授業到達目標 / Goal	国際的なニュースが地域経済・企業活動に与える影響について、概要を理解できるようになることを目標とする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	毎回の授業前半は、レジュメ、パワーポイント等の活用により、基礎的事項、背景等を講義し、後半は、講義内容に応じた小レポートの作成・提出を求める。		
授業内容 / Class outline / Con	地域社会に関する主なトピックについて考えていく。なお、期末試験は行わない。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	レジュメ等を使用する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小レポート (100%)。なお、講義への積極的な参加等もプラス要素として適宜加味する。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9/29: イントロダクション		
第2回	10/6: 日本の貿易構造の変化		
第3回	10/13: 地域の貿易動向と企業活動 (1)		
第4回	10/20: 地域の貿易動向と企業活動 (2)		
第5回	10/27: 国際貿易政策が地域社会に及ぼした影響 (1)		
第6回	11/10: 国際貿易政策が地域社会に及ぼした影響 (2)		
第7回	11/17: 国際貿易政策が地域社会に及ぼした影響 (3)		
第8回	11/24: 国際貿易政策が地域社会に及ぼした影響 (4) <特別講師: 島村 英>		
第9回	12/1: 国の出先機関の役割 (1)		
第10回	12/8: 国の出先機関の役割 (2) <特別講師: 小柳 健>		
第11回	12/15: 国の出先機関の役割 (3) <特別講師: 塚田 貴司>		
第12回	12/22: 地域社会の取り組み (1)		
第13回	1/5: 地域社会の取り組み (2)		
第14回	1/12: 授業全体のまとめ (1)		
第15回	1/19: 授業全体のまとめ (2)		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587011302	科目番号 / Subject code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動 (企業行動と戦略)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	土橋 力也		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	土橋 力也		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	土橋 力也		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	trikiya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	東南アジア研究所 308室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6355		
担当教員オフィスアワー / Office hours	基本的には授業終了後ですが、その他の時間についても可能な限り対応します。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	経営戦略についての基本的な理論を学習するとともに、「企業間の利益の差をもたらすのは何か」について考察することを目的とする。また、経営戦略論の歴史的展開を追うことによって、戦略という視点がどのように変化してきたのかを理解することを目指す。		
授業到達目標 / Goal	「経営戦略とはどのようなものか」を理解し、実際の企業行動について自分なりの分析視角をもてるようになることが到達目標である。		
授業方法 (学習指導法) / Method	板書とパワーポイントを使って講義を進めていく。また、新聞、雑誌、映像などを活用し、実際の企業の事例を多く取り入れて説明する。さらに、内容の理解を促進するために、授業の終わりの15分程度を使って小テストを数回実施する。		
授業内容 / Class outline/Con	企業を取り巻く環境は常に変化しており、企業はその変化に対応するために戦略的な行動をとらなくてはならない。また、ライバル企業の動向を把握して、自社のあるべき行動を考えなくてはならない。つまり、企業にとって必要な事は、新たな戦略の策定・実施を通じて学習していくことである。本講義では、企業の戦略的行動が競争優位をもたらす要因について、さまざまな論点から紹介する。全社戦略、競争戦略といった基本的な戦略から、資源ベース戦略、イノベーションからの競争優位などの論点を紹介する。		
キーワード / Key word	戦略、資源、イノベーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は特に指定しないが、参考書として以下を使用する。 J. B. パーニー「企業戦略論(上)(中)(下)」ダイヤモンド社、2003年。 宮崎正也「コア・テキスト 事業戦略」新世社、2011年。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験 (100%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特に定めないが、経営学の基本的な知識があることが望ましい。		
学生へのメッセージ / Message for students	経営学の基礎的な知識が不足していると感じる人は、榊原清則「経営学入門(上)」日本経済新聞社(日経文庫)、2002年、を読んでおくといいいでしょう。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション：戦略とは何か、戦略の階層性、事業ドメイン		
第2回	差別化戦略による競争優位		
第3回	低コスト化戦略による競争優位		
第4回	集中戦略による競争優位		
第5回	外部環境分析と内部環境分析		
第6回	戦略的提携		
第7回	垂直統合戦略		
第8回	多角化戦略		
第9回	国際戦略		
第10回	RBVとダイナミック・ケイパビリティ		
第11回	組織文化のマネジメントとゲーム論的アプローチ		
第12回	製品ライフサイクルの管理		

第13回	産業進化とドミナント・デザイン
第14回	デファクト・スタンダードをめぐる競争
第15回	破壊的イノベーションと競争優位
第16回	まとめ

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587011702	科目番号 / Subject code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動 (社会制度と経済活動)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	森保 洋		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	森保 洋		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	森保 洋		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	moriyasu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部東南アジア研究所3階313番研究室		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日14時20分より20分間。その他の時間帯における質問についてはメールにて相談すること。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	会社法に関する基本的知識を提供する。		
授業到達目標 / Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・証券市場の構造について説明できるようになる。 ・証券投資の基礎理論を理解し、実際に証券投資を行うための基礎知識を習得する。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	指定教科書の解説に加え、日本証券業協会・東京証券取引所が提供する「大学生のための株式学習ゲーム」に参加し、現実の経済・社会を会社を身近に体感することを試みる。		
授業内容 / Class outline / Con	証券投資を行うために必要な証券市場の構造と証券投資の基礎理論、株式会社に関する基礎知識を学習する。また、並行して「大学生のための株式学習ゲーム」に参加し知識の定着をはかる。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	榊原茂樹ほか(2013)『入門証券論』第3版、有斐閣 東京証券取引所・日本証券業協会『大学生のための証券市場と株式会社の基礎知識』		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業への参加・貢献度(30%)、期末試験(70%)		
学生へのメッセージ / Message for students	「大学生のための株式学習ゲーム」に参加するため、講義にはインターネットにアクセスできるパソコンあるいはスマートフォンを持参下さい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	評価の基本原則		
第3回	企業分析		
第4回	株式市場		
第5回	株式分析		
第6回	債券市場		
第7回	債券分析		
第8回	ポートフォリオ理論と資本市場理論(1)		
第9回	ポートフォリオ理論と資本市場理論(2)		
第10回	デリバティブ市場		
第11回	デリバティブ価格と投資戦略		
第12回	グローバル投資と各国の証券市場		
第13回	行動ファイナンス		
第14回	オルタナティブ投資		
第15回	授業の総括		
第16回	期末試験		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587012102	科目番号 / Subject code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動 (経営情報と会計情報)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	鈴木 斉		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	鈴木 斉		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	鈴木 斉		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sigh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館6F 631号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6372		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後、および、sigh@nagasaki-u.ac.jpにて受け付けています。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ICT技術の進歩により、扱うことが可能な情報の量が爆発的に増加している。これら氾濫する情報を経営情報として有効に分析・評価する能力は経営戦略上で重要な能力となる。この経営情報を効果的に使用するためには適切な意思決定も併せて重要となる。問題発見・解決をPBL (Problem Based Learning) 型の講義を通じて科学的経営意思決定方法の基礎を習得することが本講義の目的となります。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・分析を行うための情報を適切に収集できるようになる。 ・組織内の議論に主体的に関与できる。 ・対立する意見を受け入れ組織の意見へと昇華できる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	'5名程度のグループでのPBL (Problem Based Learning) 型の協同学習を行います。講義時間内の議論は予習で作成した内容をグループで話し合っまともめを行います。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	KJ法、マインドマップ、AHP (Analytic Hierarchy Process)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しません。参考書は適宜紹介します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習時間に作成する提出物: 60%、協同学習への貢献度: 40%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	講義時間中に必携PCを使用した作業を行いますので必ず持参して下さい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	講義の進め方の説明		
第2回	アイスブレイク		
第3回	KJ法・マインドマップ		
第4回	AHP (階層分析法: Analytic Hierarchy Process) についての学習 アンケート調査の設計		
第5回	アンケート調査の実施		
第6回	アンケート調査結果の集計・分析		
第7回	中間発表		
第8回	ブレインストーミング		
第9回	アイデア編集1 (展開)		
第10回	アイデア編集2 (結合)		
第11回	中間発表		
第12回	アイデア編集3		
第13回	アイデア編集4		
第14回	発表練習		
第15回	最終発表1		
第16回	最終発表2		